

# 世界旅打ち気分

●第9回・フランス～コンピエーヌとアンジェ

須田鷹雄



アンジェ競馬場のコース。一番奥がハーネス用



コンピエーヌ名物らしき、  
本格ハンバーガー屋台



コンピエーヌ競馬場のレース風景

写真のカラー版は  
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>  
#グリーンファーム会報#2018年11月号  
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

本連載は第3回で「フランスを扱い、そのときはアンギャンとヴァンセンヌに触れたかと思う。今回、凱旋門賞ついでにいくつかの競馬場にも寄つてたので、旅の実践情報とともに」紹介しよう。  
まずは「コンピエーヌ競馬場。パリから北へ10キロほど行つたところにある。凱旋門賞の翌日、武豊騎手が騎乗したというコースが流れたので名前を耳にした方もいるのではないかろうか。

パリからは北駅から列車で向かうことになる。北駅は治安の悪いところだ、スリや置き引きのリスクがあるのでここ注意いただきたい。通りいつぶんな表現の「ご注意を」ではなく、かなりリアリティのあるレベルで盗難等のリスクがある。特に日本ではまずい、子供の窃盗犯が多いので日本人はひつかりやすい。

北駅からコンピエーヌまでは、速い列車で45分、遅い列車で1時間半ほど。有名なシャンティイ競馬場のあるシャンティイイグヴー駅を越えてもつと北に行く感じになるが、同駅に止まる列車は遅い列車。あらかじめフランス国鉄(SNCF)のサイトで速い列車の時間を確認しておこう。

ルチーズその他が入ったバーガーを頼んでみた(写真2)。ソースも10種類ほどから選べる。これがなかなかのヒットで、レストランに腰を据えない限りあまり良い食べ物がないフランスの競馬場にしてはかなりのレベルだ。

コースは直線が長い一方で幅員はさほどでもなく、実施距離によつては騎手たちが外ラチに馬を寄せてくる。ラチ沿いで見ているとかなり迫力ある観戦が可能だ。別な日には、アンジェの競馬場にも行ってきた。アンジェはパリのモンパルナス駅からTGVで1時間半ほど。時間帯によっては直行列車がなくマルマン等で乗り換える場合もある。

こちらは競馬場へのアクセスがさらに厄介。駅の北東側にある競馬場までは約6キロ。さすがに歩ける距離ではない。行きは駅前につタクシーがいるのでよいとして、帰りは立ち往生になつてしまつ。コンピエーヌにはUberが1～2台いて奇跡的に呼べる可能性があるが、アンジェは何度アブリを立ち上げても台だった。

そこで私は近距離なのにレンタカーを借りたのだが、帰つてから気迫で検索したところ、競馬場か

い、そのときはアンギャンとヴァンセンヌに触れたかと思う。今回、凱旋門賞ついでにいくつかの競馬場にも寄つてたので、旅の実践情報とともに」紹介しよう。  
まずは「コンピエーヌ競馬場。パリから北へ10キロほど行つたところにある。凱旋門賞の翌日、武豊騎手が騎乗したというコースが流れたので名前を耳にした方もいるのではないかろうか。

パリからは北駅から列車で向かうことになる。北駅は治安の悪いところだ、スリや置き引きのリスクがあるのでここ注意いただきたい。通りいつぶんな表現の「ご注意を」ではなく、かなりリアリティのあるレベルで盗難等のリスクがある。特に日本ではまずい、子供の窃盗犯が多いので日本人はひつかりやすい。

北駅からコンピエーヌまでは、速い列車で45分、遅い列車で1時間半ほど。有名なシャンティイイグヴー駅を越えてもつと北に行く感じになるが、同駅に止まる列車は遅い列車。あらかじめフランス国鉄(SNCF)のサイトで速い列車の時間を確認しておこう。

ルチーズその他が入ったバーガーを頼んでみた(写真2)。ソースも10種類ほどから選べる。これがなかなかのヒットで、レストランに腰を据えない限りあまり良い食べ物がないフランスの競馬場にしてはかなりのレベルだ。

コースは直線が長い一方で幅員はさほどでもなく、実施距離によつては騎手たちが外ラチに馬を寄せてくる。ラチ沿いで見ているとかなり迫力ある観戦が可能だ。別な日には、アンジェの競馬場にも行ってきた。アンジェはパリのモンパルナス駅からTGVで1時間半ほど。時間帯によっては直行列車がなくマルマン等で乗り換える場合もある。

こちらは競馬場へのアクセスがさらに厄介。駅の北東側にある競馬場までは約6キロ。さすがに歩ける距離ではない。行きは駅前につタクシーがいるのでよいとして、帰りは立ち往生になつてしまつ。コンピエーヌにはUberが1～2台いて奇跡的に呼べる可能性があるが、アンジェは何度アブリを立ち上げても台だった。

そこで私は近距離なのにレンタカーを借りたのだが、帰つてから気迫で検索したところ、競馬場か

駅からは2、5キロほど。正直歩くのはギッシい距離なので、行きは素直にタクシーに乗つたほうがいい。問題は帰りで、客待ちタクシ一はない。ちょっと歩いたところにバス路線はあるようなのだが、どうでうまく交渉すればタクシーを呼んでもらえるようだが、ネットで調べても確かにことが分からぬ。競馬場のオフィス的なところでうまく交渉すればタクシーを呼んでもらえるようだが、

本連載は第3回で「フランスを扱い、そのときはアンギャンとヴァンセンヌに触れたかと思う。今回、凱

スンヌに触れたかと思う。今回、凱旋門賞ついでにいくつかの競馬場にも寄つてたので、旅の実践情報とともに」紹介しよう。  
まずは「コンピエーヌ競馬場。パリから北へ10キロほど行つたところにある。凱旋門賞の翌日、武豊騎手が騎乗したというコースが流れたので名前を耳にした方もいるのではないかろうか。

パリからは北駅から列車で向かうことになる。北駅は治安の悪いところだ、スリや置き引きのリスクがあるのでここ注意いただきたい。通りいつぶんな表現の「ご注意を」ではなく、かなりリアリティのあるレベルで盗難等のリスクがある。特に日本ではまずい、子供の窃盗犯が多いので日本人はひつかりやすい。

北駅からコンピエーヌまでは、速い列車で45分、遅い列車で1時間半ほど。有名なシャンティイイグヴー駅を越えてもつと北に行く感じになるが、同駅に止まる列車は遅い列車。あらかじめフランス国鉄(SNCF)のサイトで速い列車の時間を確認しておこう。

ルチーズその他が入ったバーガーを頼んでみた(写真2)。ソースも10種類ほどから選べる。これがなかなかのヒットで、レストランに腰を据えない限りあまり良い食べ物がないフランスの競馬場にしてはかなりのレベルだ。

コースは直線が長い一方で幅員はさほどでもなく、実施距離によつては騎手たちが外ラチに馬を寄せてくる。ラチ沿いで見ているとかなり迫力ある観戦が可能だ。別な日には、アンジェの競馬場にも行ってきた。アンジェはパリのモンパルナス駅からTGVで1時間半ほど。時間帯によっては直行列車がなくマルマン等で乗り換える場合もある。

こちらは競馬場へのアクセスがさらに厄介。駅の北東側にある競馬場までは約6キロ。さすがに歩ける距離ではない。行きは駅前につタクシーがいるのでよいとして、帰りは立ち往生になつてしまつ。コンピエーヌにはUberが1～2台いて奇跡的に呼べる可能性があるが、アンジェは何度アブリを立ち上げても台だった。

そこで私は近距離なのにレンタ

カーや、帰つてから

気迫で検索したところ、競馬場か

が、障害と平地を両方行う開催日もあり、その場合は1粒で2度だ。

私が訪問した日もそうだった

が、障害と平地を両方行う開催

日もあり、その場合は1粒で2度だ。

私が訪問した